

目次 Contents

- | | | | |
|----|-------------------|----|-------------------|
| 3 | 新型コロナワクチンの4回目接種 | 20 | 自治医科大学附属病院連携協働コラム |
| 4 | 下野市長選挙 | 22 | 地域おこし協力隊通信 |
| 6 | いちご一会とちぎ国体 | 23 | 障がい福祉瓦版 |
| 7 | 男女共同参画週間 | 24 | 保健便り |
| 8 | まちの話題 | 28 | 環境トピックス |
| 9 | 市民活動センターがオープンしました | 29 | 国民年金だより |
| 10 | 令和3年度の財政状況 | 30 | 図書館だより |
| 12 | 市民活動補助事業を決定しました | 32 | 新・下野市風土記 |
| 14 | プレミアム付き下野市共通商品券 | 33 | くらしの情報 |
| 15 | 3駅を中心としたまちづくり | 46 | 6月のカレンダー |
| 16 | レッツスポーツ | 47 | 国際交流員ウィルペルトのコラム |
| 19 | 栃木SCホームゲーム 下野市民デー | 48 | イベントカレンダー |

※掲載写真の一部は、撮影時のみマスクをはずしています。

今月の表紙

市民活動センターがオープンしました

今月の表紙は、5月15日にオープンした市民活動センターの、テープカットの様子です。

市民活動センターでは、ボランティアをはじめとする公益的な活動を行う市民団体などが活動の拠点として利用できるよう、会議室や貸し出し物品を用意。授乳室や、ベビーチェア付きのトイレも完備しています。1階の交流スペースは自由にご利用いただけますので、ぜひお立ち寄りください。秋に

は、センター敷地を会場とする「市民活動センターまつり」を開催予定ですので、お楽しみに。

なお、市民活動センターの建物は、公共施設の整理と有効活用のため、新築ではなく既存の建物をリニューアルしました。以前はこの建物に、昨年5月に南河内公民館へ移転した生涯学習情報センターと、旧国分寺西小学校へ移転した障がい者就労支援施設「なのはな」が入っていました。

今月の何の日

6月1日 気象記念日

1875（明治8）年のこの日、日本初の気象台である東京気象台が設置され、気象と地震の観測が開始されたことに由来しています。

日本が気象観測を実施するきっかけとなったのは、欧米の知識や技術を取り入れるために政府が雇った、いわゆる「お雇い外国人」たちでした。

1871（明治4）年、政府は工部省内に測量司という局を設置し、イギリス人技術者のマクビーンとジョイネルという人物を採用しました。このジョイネルが気象観測の必要性を説いたことから、工部省は気象台を設ける決定をします。そしてマクビーンは測量師長として、日本人測量士の育成と、観測器械の調達に尽力しました。

1875（明治8）年5月、観測器械の準備及び設置が完了すると、6月1日から観測が開始されました。当初は、ジョイネルが1人で日に3回の気象観測を行い、地震が発生すれば土蔵の中の地震計まで飛んで行き、確認を行うような体制でした。その後、9月には正戸豹之助ら数名が伝習生となり、徐々に観測に加わったため、ジョイネル1人での観測体制は改善されていきました。

1884（明治17）年になると、毎日3回、全国の天気予報が発表されるようになりました。現在では天気予報を毎日確認する方が多いのではないのでしょうか。特にこれから梅雨の季節にもなりますので、天気予報の欠かせない日が続きそうですね。

■人口と世帯（5月1日現在）

人口／60,055人（+126）、男性／29,854人（+72）、女性／30,201人（+54）、世帯数／25,134世帯（+187）

